



2014年2月14日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 畑中 好彦  
コード番号 4503  
(URL <http://www.astellas.com/jp>)  
東 証 ( 第 一 部 )  
決 算 期 3月  
問 合 せ 先 広報部長 河村 真  
Tel : (03) 3244-3201

### アステラス製薬：米国アヴェオ社とのがん治療剤チボザニブの 開発・商業化に関する契約終了のお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、米国の医薬品会社アヴェオ社（英名：AVEO Oncology、本社：米国マサチューセッツ州）とがん治療薬として開発を進めてきた血管内皮細胞増殖因子（VEGF）受容体 1,2,3 阻害剤チボザニブ（一般名、英語名称：tivozanib、開発コード：ASP4130）について、同社との開発・商業化に関するライセンス契約を終了することと致しましたので、お知らせします。

アステラス製薬は、このたび、試験を実施した3つの適応症（腎細胞がん、大腸がん、乳がん）での臨床試験の状況を踏まえ、戦略的な理由により、当該ライセンス契約の解約権を行使しました。また、大腸がん患者を対象にした第II相BATON (Biomarker Assessment of Tivozanib in ONcology) 試験は、中止致します。当該ライセンス契約は、2014年8月11日をもって終了しますが、その時点でチボザニブの権利はアヴェオ社に返還されます。なお、合意済みの計画に基づく開発費は、ライセンス契約に従い引き続き両社で折半されます。

アステラス製薬は、引き続き重点領域の一つとして、がん領域に取り組んでいきます。

なお、このたびの解約権行使による、アステラス製薬の当期（2014年3月期）業績への重要な影響はありません。

以 上